

生物の多様性ってなに？

生物の多様性とは、たくさんの種類の生きものがバランス良く生活する中で、その生きものどうしのつながりや、個性の多さを示す言葉です。生物の多様性には、次の3種類があります。

1. 生態系の多様性(せいたいけいのたようせい)

“生態系”とは、お互いに関係を持ちながら生息している生きものたちと、まわりの環境(水、土、空気、太陽光など)をまとめた言葉です。生態系には山林、草地、海岸ほか、たくさんあります。



山林生態系

草地生態系

河川生態系

海岸生態系

2. 種の多様性(しゅのたようせい)

生きものの「種類」が多いこと。今のところ約175万種の生きものが確認されていますが、地球上には500万~3000万種の生きものがいると推測されています。



3. 種内の多様性(しゅないのたようせい)

同じ種類の生きものどうしでも、住んでいる場所が違うことにより、体もようや機能にも少しずつ“違い”があります。



生きものたちからのサービス

私たちは、たくさんの生きものから恵みやサービスを受けています。これを生態系サービスといいます。もし生きものがいなくなったら、食べ物がなくなるどころか、地球上に住めなくなるかもしれません。

基盤サービス

酸素の供給、気温・湿度の調節、水や栄養塩の循環など生態系サービスの土台



森林

供給サービス

食料、燃料、木材、医薬品、水など、生活に欠かせない資源の供給

ミツバチ(受粉)



イネ(米)

文化的サービス

多くの自然を利用したレクリエーションや、精神面での癒しなどを提供



こいのぼり



登山

調整サービス

水の浄化、土砂の流出・崩壊防止、気候の緩和など、生活環境の調整



(森林) 水の貯留や浄化



(川) 水の浄化 水の循環